

指定給水装置工事事業者の皆さまへ

給水装置工事での施工写真提出と施工管理のお願い

大阪市水道局東部水道センター
給水装置工事グループ

1 施工写真を速やかに提出して頂きますようお願いいたします。

- ・工事施工写真や訂正図面は持ち込み以外にメールでも提出することができます。速やかな提出にご協力をお願いします。
- ・メール1件当たり送受信できる容量は10MBまでです。超える場合は、分割するか圧縮をお願いします。
- ・メールでの送信に当たりましては、事業者名および施工場所の住所の明記をお願いします。
- ・資料には個人情報が含まれる場合があります。送付間違いの無いようメールアドレスはよく確認してください。

※送付先メールアドレス: toubu-kyusui@suido.city.osaka.jp

2 施工管理上のお願い(施工管理、写真管理)

(1) 着工前のお願い

- ① 工事着工前に沿道住民・地域関係者に対し、**工事PR**を十分行なって下さい。
特に騒音・振動などによるトラブルの発生がないようにお願いします。
- ② 施工日までに布設位置変更を行う必要が生じた場合は、事前に給水装置工事グループと協議をお願いします。
- ③ **工事の施工日が決定した場合や雨天等で工事を中止する場合は、必ず(株)大阪水道総合サービスへ連絡していただきますようお願いいたします。**

(2) 施工日のお願い

- ① 工事施工日には必ず**現場責任者(主任技術者等)**が常駐し、適正な施工と現場管理をお願いします。
- ② 道路使用許可書添付の交通処理図を参照して、**交通安全に努めてください。**
 - ・工事看板は、必要事項を明記して所定の場所に設置してください。
 - ・専門の保安要員(ガードマン)は、交通処理図を参照して配置してください。
 - ・専門の保安要員(ガードマン)について、主要地方道路は、交通誘導警備業務に係る検定合格者[1級又は2級]を一人以上配置してください。
 - ・占用範囲外に工事車両・資機材等は置かないようお願いします。
- ③ 道路掘削工事にあたっては、道路法・道路交通法・道路占用規則・水道局土木共通仕様書・道路使用許可条件・その他関係法規に従い施工し、常に道路使用許可書(写)、道路占用承認書、及び埋設企業体へ提出した施工通知の回答書を携行してください。
- ④ **『施工状況写真』を各段階で撮影してください。(別紙1、2参照)**

(3) 土 工

- ① 埋設物と接近する場合は、その埋設物を管理する企業体と**協議・立会**を行ってください。
- ② 埋設物付近の掘削は**手掘り**で行ってください。
- ③ **掘削壁面の崩壊がないよう注意し、特に掘削深さが1.5m以上の時は必ず『土留工』を行ってください。**
- ④ **掘削範囲内に縁石・街渠等の構造物がある場合は、えぐり堀をせずに取壊したうえで掘削してください。**

(4) 管 工

- ① 使用材料については設計書を確認し**不足のないように用意し、現場条件による変更にも対応できるよう準備**してください。
※適正な材料を使用してください。また表示ピン・ポリエチレンスリーブも用意してください。
※HIVP管用**接着剤**については、『日本水道協会規格 JWWA S 101』に適合したものを使用してください。
- ② 配水管等からの分岐は、特に『**位置**』『**取付間隔**』に注意し穿孔してください。
※水道用ねじ切り油剤(JWWA K 137を含む)使用は認めない。(管内への混入及び近隣への影響が懸念されるため)
- ③ 配水管等からの分岐穿孔は、必ず当局が規定する**穿孔講習修了者が行き、現場では穿孔講習修了者証を携行**してください。
- ④ 不明点は「給水装置工事設計施工基準」を見ていただくか、東部水道センター給水装置工事グループに相談してください。
- ⑤ **配管する際には、道路管理者の定める『規定の埋設深さ』と『他埋設物との離隔』を確保してください。**
埋設深さ不足や離隔不足の場合は、再施工をお願いすることがありますので、特に注意してください。

《裏面に続く》

(5)埋戻し～一次本復旧工

- ①埋戻しは一層の仕上がり厚さが、路床部は20cm、下層路盤は20cm、上層路盤は15cmを超えないように転圧を行い、不陸・陥没・段差等が生じないように転圧してください。
また、その状況の写真も忘れずに撮影していただきますようお願いします。（別紙-1～3参照）
- ②一次本復旧を施工するときは道路管理者が規定する材料及び工法で施工してください。
一次本復旧は加熱アスファルトを使用してください。常温合材（レミファルト等）は使用しないでください。
一次本復旧跡には規定のプレートで『水どう』の標示を行ってください。
- ③一次本復旧完了後14日以内に別紙1の「1. 施工前～4. 一次本復旧」の写真を提出してください。
メール送信も可能です。

(6)二次本復旧工

- ①二次本復旧を施工するときは道路管理者が規定する材料及び工法で施工してください。
- ②舗装工種毎の基層、表層の厚さを遵守すること。なお、一層の厚さは、基層、表層共に5cmを超えないように施工してください。
- ③歩道部にあっては、すべての舗装工種において路盤から施工する必要があるため、注意すること。なお一層の厚さは上層路盤：15cm、表層5cmを超えないように施工してください。
- ④二次本復旧完了後、14日以内に『給水装置工事舗装復旧工事完成報告書』と『施工状況写真』（別紙2参照）を提出してください。メール送信も可能です。
- ⑤二次本復旧工事が建築随伴や他企業体施工の場合も『施工状況写真』は水道局において確認し、道路管理者へ提出しますので、必ず必要となります。
二次本復旧施工業者と調整していただき、写真入手の上、提出していただきますようお願いします。

(7)その他(連絡先)

- ①施工中の漏水発見や水道管の破損

名称	連絡先
お客さまセンター	06-6458-1132

※破損の場合は有料修繕となります。
- ②施工中のトラブル等

名称	連絡先
東部水道センター給水装置工事グループ	06-6927-7611 メール toubu-kyusui@suido.city.osaka.jp
- ③しゅん工立会に係る施工日時の変更、中止等

名称	連絡先
(株) 大阪水道総合サービス	06-6927-7612 080-7398-2298（夜間・休日）※

※しゅん工立会を休日・夜間を実施するときのみ

別紙 1: 施工状況写真撮影箇所の例(施工前～一次本復旧)

1 施 工 前

工事着手前



保安施設工



材料検収



2 土 工

舗装切断



舗装取り壊し



掘削状況



ガラ・残土積込状況



掘削幅



3. 管 工

穿孔中



切削屑排水



配管布設状況



分水栓止め

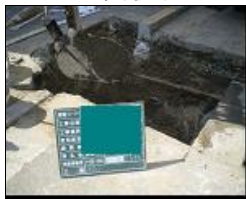


土被り



4. 埋戻～一次本復旧

埋戻状況



路床転圧状況



路床確認高



下層路盤転圧状況



下層路盤確認高



上層路盤転圧状況



上層路盤確認高



プライムコート散布



表層施工状況



工事完了



※特に層ごとの転圧状況(層の厚さが分かるもの)やプライムコートの散布状況(均一な散布)等に不備が多くあります
十分に注意して施工し、写真を撮影していただきますようお願いします。

別紙2: 施工状況写真撮影箇所の例(二次本復旧)

5. 二次本復旧



【注意】
施工写真に不備があり、施工状況が解らない場合、再施工していただくかなければならなくなる場合があります。
施工管理、写真管理をよろしくお願いします。

別紙3:埋戻し～舗装復旧工事の注意点(各層の厚さ)

管工事施工時における舗装復旧工事の参考資料

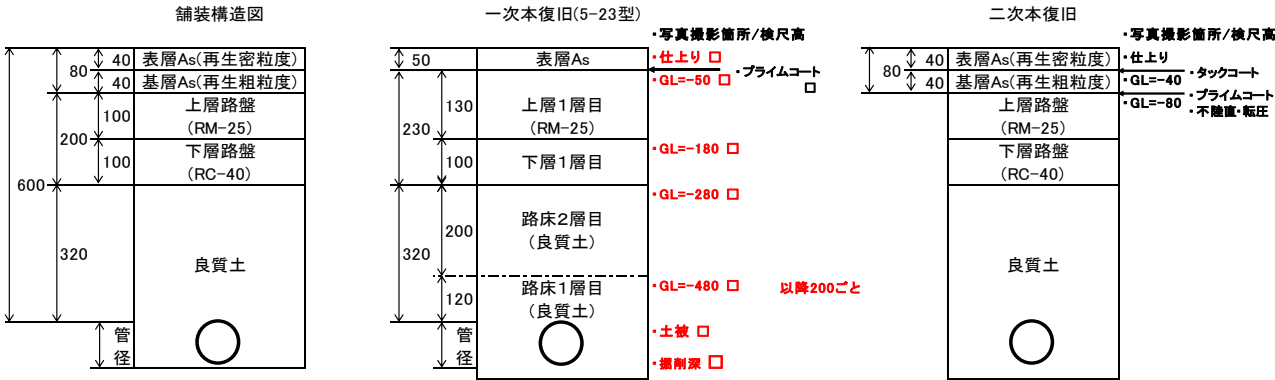
◎ 標準土被り＝舗装厚＋300（かつ600未満とならないこと）

単位: mm			
舗装工種	舗装厚＋300	判定	標準土被り
A20－70	200＋700＋300＝1200	≧ 600	1200
A15－60	150＋600＋300＝1050	≧ 600	1050
A10－50	100＋500＋300＝ 900	≧ 600	900
A05－45	50＋450＋300＝ 800	≧ 600	800
A08－35	80＋350＋300＝ 730	≧ 600	730
A05－30	50＋300＋300＝ 650	≧ 600	650
A08－20	80＋200＋300＝ 580	< 600	600
A05－10	50＋100＋300＝ 450	< 600	600
CY25	250＋ 0＋300＝ 550	< 600	600
CY25－10	250＋100＋300＝ 650	≧ 600	650
歩道部			600

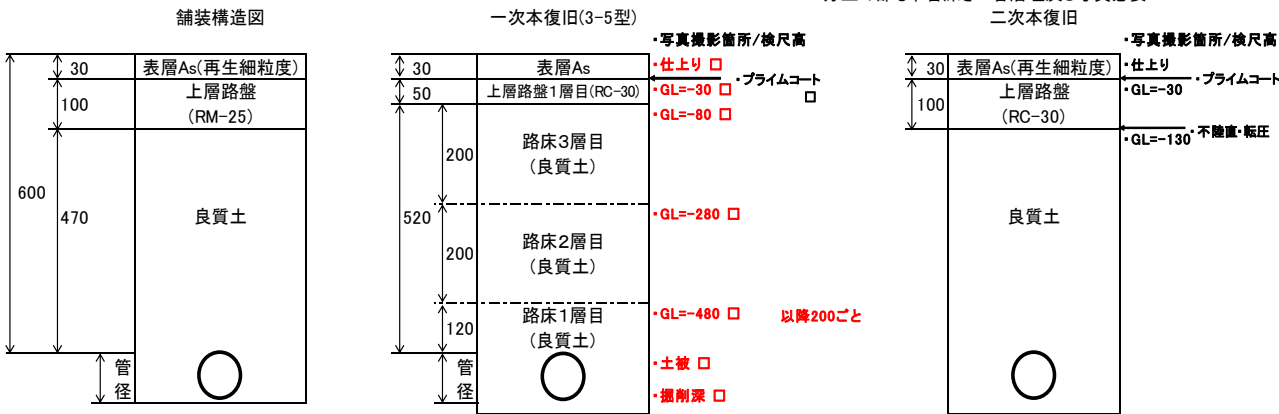
◎ 埋戻し～一次本復旧における最大転圧厚さ

道路構造		
舗装	表層アスファルト	※アスファルトにおける1回の最大転圧厚は50と定められている。
	基層アスファルト	
	上層路盤	※上層路盤における1回の最大転圧厚は150(国道は100)と定められている。
路盤	下層路盤	※下層路盤における1回の最大転圧厚は200(国道は100)と定められている。
	路床 (舗装下面から約1m)	※路床部の最大転圧厚は200と定められている。 (殆どの水道工事が、この路床部までで施工されるため、転圧については、ほぼ200以下で行うこととなる。)
路体		※上記舗装構造部以外(路体部や私有地など)における1回の最大転圧厚は300と定められている。

例) A08-20 管深さ600以上必要



AF03-10 管深さ600以上必要



- ※工事写真撮影の注意事項
- ・基面をしっかりと締め固めてから、その基面に箱尺等を密着させて(持ち上げたりしないで)検測を行うこと。
 - ・既設舗装端面等の不動点から糸を張る等し、この糸を手足で触れる(固定する)ことなく、フリーの状態で検測を行うこと。
 - ・アスファルト乳剤(プライムコート/タックコート)は、基面全体に隙間なく散布すること。
 - ・表示板(黒板)等を使用し、「撮影内容(「上層路盤1層目」等)」、「検測寸法(「GL＝－30」等)」を丁寧に明記すること。